

国分寺市におけるサービス提供基盤整備の状況と今後の見通しについて

平成29年10月12日
第3回国分寺市障害者施策推進協議会
資料7

カテゴリ	サービス名称	平成25年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度以降の見通し	需要予測 (今後の利用者数の見込)
		事業所数	定員数	事業所数	定員数	事業所数	定員数		
訪問系	居宅介護、重度訪問介護、同行 援護、行動援護等	20	532	23	561	25	571		・今年度に入り、介護者の高齢・疾病等による居宅介護の新規利用が増えている。今後も同様の傾向が続くことが見込まれる。 ・重度訪問介護利用者の高齢化等により、利用時間数の増が想定される。
日中活動系	生活介護	4	89	4	92	4	92	・H30市内法人新規開設予定(20人・H30に10人からスタート) ・市内事業所H30から毎年定員3人ずつ増予定	・特別支援学校卒業見込者の生活介護利用希望が多く、毎年5人程度の希望者が見込まれる。 ・障害者の高齢化と重度化が進んでいることも踏まえると、ニーズは高い。
	自立訓練(機能訓練)	1	6	1	6	1	6		・市障害者センターでの自立訓練(機能訓練)への通所者が中心。
	自立訓練(生活訓練)	3	27	3	29	3	29		・うつ病等のリワーク支援を行う事業所が市外に増えており、復職を目指す精神障害者の利用が漸増傾向にある。 ・長期入院者等の地域移行で利用するケースも増えていくことが見込まれる。
	就労移行支援	2	16	2	29	2	29	・事業所新規開設の相談あり	・アンケート調査でも、潜在的なニーズは高く、地域の就労支援ネットワークの構築等により、利用者の増が見込まれる。 ・全国平均増加率5%
	就労継続支援(A型)	0	0	0	0	0	0		指定基準が厳格化されたことにより、新規事業所の開設は少ない状況。利用者の伸びは鈍化することが見込まれる。
	就労継続支援(B型)	7	107	7	119	7	119	・H30市内新規事業所開設予定(40人)、同法人内の他事業所縮 小廃止、法人全体ではH32までに11人の定員増となる予定	・特別支援学校卒業見込者で毎年5名程度の利用希望者が見込まれる。
	就労定着支援【H30新設】	—	—	—	—	—	—		
	療養介護	0	0	0	0	0	0		・療養介護利用希望者3人。
居住系	短期入所	3	6	3	11	3	11	・H30市内法人新規事業所開設予定(2人)	・介護者の高齢・疾病等の理由による短期入所の利用が増えている。また、将来的な自立を見据えた利用も増加している。 ・障害者の重度化や家族の高齢化等による利用者の伸びや新たな利用者等も踏まえると、今後利用者数がさらに増えていくことが見込まれる。
	自立生活援助【H30新設】	—	—	—	—	—	—		
	共同生活援助	17	104	17	113	19	126	・H30市内法人新規開設予定(15人)※身体・知的・精神等対応	【サービス等利用計画よりニーズ抽出】 ・将来的な希望者も含めると現時点でGH利用希望を確認できたのは78人。 【障害別】知的66人、精神11人、身体1人。【年齢別】18歳未満2人、18歳以上40歳未満58人、40歳以上65歳未満18人) ・入居を具体的に考え始めている人は25人(身体・知的18人、精神7人)。 ・本人の希望と家族の意向が異なるケースも見られる。 ・GH利用希望者の中には、GHを経てゆくゆくは一人暮らしをしたいという人もいる。 【アンケート調査結果】 ・GH利用希望者111人(65歳未満) ・GHを第1希望者は73人。(65歳未満) ・GH入居希望時期は、「家族の介護が受けられなくなったとき」が最も多く、次いで「自立できるようになったとき」が多い。3年以内に入居を希望している者は、29人。(第2希望も含む。65歳以上除く。)
相談支援	施設入所支援	0	0	0	0	0	0		・今年度、本人の状況や家族の事情により、施設入所者2名新規で増えている。 ・現在の施設入所希望待機者は2人。 ・地域移行希望者は2人。※サービス等利用計画よりニーズ抽出。
	地域移行支援	4	11	3	14	3	14		
	地域定着支援	4	11	3	14	3	14		
障害児支援	計画相談支援	4	11	7	22	7	22	・H30以降、事業所開設を検討している法人等あり	
	児童発達支援	0	0	1	20	1	20	・H29中に市内に新規事業所開設予定(10人)	・相談支援事業所や障害児通所支援事業所からの情報等を勘案すると、利用に対するニーズは高い。 ・今後、地域の相談支援体制等が整備されていくことにより、必要としている方にサービスがつながり、利用者数が増加していくことが見込まれる。
	医療型児童発達支援	0	0	0	0	0	0		
	放課後等デイサービス	4	40	8	80	9	90	・現在のところ新規開設の相談はなし	・潜在的利用ニーズはまだ高い・重症心身障害児については、主に重症心身障害児を対象とする事業所が近隣市に開設され、利用者が少しずつ増えている状況である。
	保育所等訪問支援	0	0	0	0	0	0	・H30以降、事業所開設を検討している法人等あり	
	訪問型児童発達支援【H30新設】	—	—	—	—	—	—		
障害児相談支援	3	9	5	15	5	15			

※居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護等の定員数には、ヘルパーの人数を記載。

※相談支援及び障害児相談支援の定員数には、相談支援専門員の人数を記載。